新教出版社・新刊案内　2021 年 9 月 24 日発売

ユダよ、帰れ

コロナの時代に聖書を読む

奥田知志［著］

四六判・並製・268 頁・本体 1,800 円（税込定価 1,980 円）
ISBN 978-4-400-51766-5　C1016

タカオカ邦彦氏撮影

【目次より】

1　闇の中ではじまる――コロナの時代を生きるために
マルコによる福音書一六章一―一八節
2　会心の回心――この先にある
ピリピ人への手紙四章一一―一三節
3　スケールの問題――モーセからコロナを眺める
ルカによる福音書二四章一三―三二節
4　人であり続けるために――最後の被造物・人間
創世記一章二六―二二節
5　裏切る神――希望とは
マルコによる福音書一二章一〇―一一節
6　ユダよ、帰れ――ホームとは何か
マタイによる福音書二七章一―一〇節
7　名もなき有名人――あなたがあなたであること
ルカによる福音書一〇章一七―二〇節
8　そんな手洗いなら俺たち絶対洗わねえ
①マルコによる福音書六章三五―四四節
②マルコによる福音書八章一―一〇節
9　もう一つの信仰告白――戸に鍵をかけ、クソったれと祈る
マタイによる福音書六章五―六節
10　黙祷――祈れない夜に
ルカによる福音書二二章三二節
11　資格は失格、信用できるはずもなく――それでも父は喜んだ
ルカによる福音書一五章一一―二四節
12　隠れたる神――神無き世を生きるために
イザヤ書四五章一五節
13　イエスはアホや――ポストコロナ社会の風景
マルコによる福音書八章三四節
14　そう簡単に新しくなれない私――次代の花形
マルコによる福音書一二章一〇―一一節
15　心配するな、これは消化試合だ――希望から見る
ヨハネ黙示録一二章七―一二節

待望の、著者初の説教集！

2020 年のイースター礼拝から始まった全 15 回の連続説教「コロナの時代に聖書を読む」。それは YouTube で配信され、たちまち全国から圧倒的な反響を呼んだ。コロナ禍でますます鮮明になった、人間を分断し、孤立させ、弱者を排除する社会に対して、著者は、聖書の深い読みと長年の実践に裏付けられた洞察をもって、福音を大胆に対置する。その生彩に富んだ語り口は、説教者としての著者の面目躍如たるものがある。

奥田知志（おくだ・ともし）

1963 年滋賀県生まれ。日本バプテスト連盟東八幡キリスト教会牧師、認定 NPO 法人抱樸理事長、公益財団法人共生地域創造財団、ホームレス支援全国ネットワーク、生活困窮者自立支援全国ネットワーク、全国居住支援法人協議会などの代表を務める。第 19 回糸賀一雄記念賞、第 1 回賀川豊彦賞受賞。著書に『もう、ひとりにさせない』（いのちのことば社）、『「助けて」と言える国へ』（共著、集英社新書）、『いつか笑える日が来る』（いのちのことば社）ほか多数。